

## ●技術情報

### Q&A

---

#### [6] 作物別施用法（野菜類）

---

##### Q6-4-33 ゴボウのヤケ症(センチュウ対策)には効果があるのでしょうか？

A6-4-33 ゴボウのヤケ症は数種のカビやネグサレセンチュウによって根部が黒褐変する症状で、きわめて防除が困難です。

現在の防対策としては、少なくとも2～3年以上の輪作、早掘り、秋まきによる夏ゴボウ栽培などの耕種的な対策とあわせてセンチュウ防除目的で石灰窒素が使用されております。

石灰窒素とクロールピクリン剤の併用効果について茨城県の成績を紹介します。

表 6-4-23 ゴボウのヤケ症防除効果(茨城県農試)

区 名	項 目	地 際 部	ヤ ケ 症	発 病 度	収 量(kg/10a)	
	発病率 %	病班長 cm	全 重		販売可能	
石灰窒素		48.1	1.8	24.6	1,700	1,400
石灰窒素+クロピク		16.0	0.3	4.8	1,900	1,700
クロピク		50.7	1.6	17.5	1,700	1,500
無処理		61.3	2.0	23.0	1,500	1,300

備考) 使用方法 : クロールピクリン剤を4月中旬、まき溝(60 cm幅)のみに30 cmおき20 cmの深さに2 ccずつ注入し(10a 当たり110)、5月上旬にガス抜き、石灰窒素は5月下旬10a 当たり100kgを全面に散布し土とよく混和した  
栽培期間 : 播種6月上旬、収穫11月上旬